

復職支援研修における標準プログラム

資料7

東京都看護職員地域確保支援事業

病院名 浩生会スズキ病院

コース	3日	5日(看護師)
プログラム	講義、院内見学、技術演習、病棟見学実習	
1日目	AM 自己紹介・オリエンテーション・復職支援研修及びナースバンク登録に関する説明 講義(最近の医療・看護の動向、医療安全) ----- PM 講義(感染管理)、外来・病院見学	
2日目	AM	研修内容<事例を設定し指示に基づく実施> 1 採血、筋肉・皮下・静脈注射等講義と演習 (1) 薬剤処方箋・指示の確認 (2) 必要物品の準備 (3) 患者確認 (4) 刺入部位の確認 (5) 駆血帯の扱い、刺入角度 (6) 針とルートの固定 (7) 点綴ルートの種類と滴下数の合わせ方 2 輸液ポンプの取り扱いなど (1) ポンプ専用ルートの種類とセッティング (2) 禁忌(フリーフロー等)事項など操作方法 3 急変時の対応 ----- 4 薬剤の知識 (1)講義(与薬、方法、確認、観察等) 5 看護観察 (1)フィジカルアセスメント (2)バイタルサインの測定 (3)フィジカルアセスメント用紙・転倒転落アセスメント用紙・長谷川式評価スケールの説明 ----- 外来・病棟見学実習 1 病棟オリエンテーション (1)病棟概要(特徴、構造等) (2)スタッフ紹介 (3)患者紹介(疾患・治療・看護内容等) (4)主に使用する薬剤(点滴・内服薬)と注意事項
	PM	指導体制・方法 1 研修生4名に対し1名の指導者を配置 2 準備 (1)腕モデル(静脈・採血、筋注用等) (2)椅子、注射台及びベッド (3)輸液ポンプ (4)車椅子、ストレッチャー、安楽枕 (5)その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで 4 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける。 質問を受ける、実践指導等 5 講義やDVD視聴
3日目	AM	外来・病棟見学実習 1 援助の実際 (1)環境整備・リネン交換 (2)VS測定、体位変換、移乗・移送 (3)清潔援助(清拭、口腔ケア、足浴等) (4)食事の援助、排泄の介助 ----- 2 カンファレンス参加 ※カンファレンス後も時間があれば実習 指導体制・方法 1 看護師長もしくは研修担当者がオリエンテーションを実施 2 指導看護師に付いて一緒に援助を行う
	PM	交流会・就業相談・アンケート記入、就業相談
4日目	AM	外来・病棟見学実習 1 援助の実際 (1)環境整備・リネン交換 (2)VS測定、体位変換、移乗・移送 (3)清潔援助(清拭、口腔ケア、足浴等) (4)食事の援助、排泄の介助 ----- 2 カンファレンス参加 ※カンファレンス後も時間があれば実習 指導体制・方法 1 看護師長もしくは研修担当者がオリエンテーションを実施 2 指導看護師に付いて一緒に援助を行う 3 侵襲を伴う処置は見学とする
	PM	交流会(研修生人数によって開始時間は変更)、アンケート記入、就業相談
5日目	AM	病棟見学実習(午後も実施可)
	PM	交流会(研修生人数によって開始時間は変更)、アンケート記入、就業相談

※1名の研修生に1名の指導者を配置
 ※援助の際は必ず患者に承諾を得る
 ※病院・施設所属の指導のもとで行う

コース	1日(随時)
プログラム	講義・院内見学等
1日目	AM 自己紹介・オリエンテーション・復職支援研修及びナースバンク登録に関する説明 講義(最近の医療・看護の動向、医療安全) ----- PM 講義(感染管理)、外来・病棟見学、看護体験、アンケート記入